

2018年4月13日

## 日本初の大型 LNG トラックのモニター走行開始について

いすゞ自動車株式会社(本社：東京都品川区、社長：片山正則、以下「いすゞ」)は、環境省の「CO<sub>2</sub> 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」の一つである「大型 LNG トラックおよび最適燃料充填インフラの開発・実証事業」を受託し、液化天然ガス(LNG)を燃料とする大型トラックの開発を進めてきました。

この度、2台の大型 LNG トラックを製作し、共同実施者としてシェルジャパン株式会社、一般財団法人環境優良車普及機構と組んで2018年6月上旬から、日本初のL(LNG)+CNGステーションを開設して、日本初の運送事業者様によるモニター走行が開始されます。

LNGは、燃料のエネルギー密度が高く搭載効率が優れるため、今回の大型 LNG トラックでは1,000km以上の航続距離を確保するとともに充填時間の短縮を実現しています。

いすゞは、エネルギーセキュリティ及び環境負荷低減の観点等から約20年にわたって天然ガス自動車の取組みを進めてきており、天然ガス自動車の普及促進に向けて、モニター走行で得られた情報を基に量産モデルの検討を進めてまいります。

### 【モニター車イメージ】



以上